

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成31年2月21日(月) No.54
発行人

はやくきちんと喋れるようになり
たい川崎先生。完治はいつ～(T_T)

◆大きな家族っていいなあ～2/21 “6年生を送る会” ◆

中学校しか知らない川崎が初めて経験する“6年生を送る会”。どんな雰囲気なんだろう？と思っていたら、あやめホール一杯に愛がつまった素敵な会でした。

卒業ってこういうことなんだよなあ。ただその瞬間その時期のことではなくて、歩んできた道の長さとか思いの深さとか、そしてそこに関わった全ての人の思いが凝縮されて、それが一気に流れ込んでくる感じ。感激とか感動とか、そんな単純な言葉ではとても言い表せない胸いっぱいな思い。純粋にいいなあ～と思う。

家族で言うと6年生が一番上のお兄さんお姉さん。そのお兄さんお姉さんを大好きな弟と妹たち。周りで笑顔で見守る本当のお父さんお母さんやおばあちゃん、そして同じくお父さんお母さん役の先生方。その全ての人のあたたかい気持ちの中で、とってもとっても幸せな時間が過ごせました。

その中でも6年生の卒業に向けての思いは別格。“自分たちの6年間の証を見てほしい”という決意というか願いというか、そういう大きな思いが一語一句から、合唱から、目から、その姿かたち全てからあふれ出ている。これぞ6年生。さすが6年生。

クラスへ戻ると、サプライズで担任の倉崎 t には6年生から顔写真の入りの色紙が……。これがこれまでの深い絆を表している。担任っていいなあ～。うらやましいなあ～。(いや、決して川崎が欲しい訳じゃないですよ。大丈夫ですよ。その光景だけで胸がいっぱいですから。こうやって書けば書くほど催促してるみたいですが、決してそうではありませんよ。くどいようですが、ちがいますよ。)

●全校があたたかかったなあ～●

・1年生はかわいらしいったらありゃしない。一生懸命だけど微妙にすれたりとか、それがまたかわいらしさをさらにアップさせている。6年生にもこんな時があったんだものね。思わず6年生の顔も笑顔になってたよ。

・2年生になると、自分たちで行動しようとしているから、1年間の成長ってすごいなあ。練習も自分たちだけでできるものね。あのうちわはナイスアイデア。踊りもカッコいい。

・言葉が大きくてはっきりし、態度も堂々としていた3年生。呼びかける言葉もみんな覚えているし、合唱も合奏も音がきれいに合っていたし、まさに心がこもっていた発表だったね。

・4年生になると、行動がキビキビして見ているだけでも気持ちいい。合奏も楽器が増えて難易度が高くなったけど、見事に全校を惹きつける演奏だったね。感謝の気持ちが十分に伝わってきたよ。

・アカペラから始まった5年生の合唱。何人も欠席していて、その上に男子が圧倒的に多い5年生だけど、少ない女子は頑張るし、男子の声は大人っぽいし、全体的な声量があってよく響いてきた。今回の会の運営も見事だし、全員の協力も素晴らしいし、6年生の後を引き継いで、素晴らしい西小を創ってくれること間違いなし。グッジョブ。